

28年度通常総会議事録

- 1 日 時 平成28年5月21日(土) 15時30分～17時
- 2 場 所 東海村 産業・情報プラザ 1階 会議室
- 3 出席者数 正会員9名、委任状提出2名(3月31日時点での正会員数20名)
<出席者名>佐藤(隆)、土屋、池田、中村、小宮山、服部、村上、
佐藤(稔)、遠藤(以上、正会員)、
泉(幸)、阿部(功)、仲田(以上、陪席者)

4 議長および議事録署名人について

- ・佐藤隆雄代表理事が議長として議事進行を行った。
- ・議事録署名人として、中村洋平と服部成雄が議長より指名された。

5 審議事項

- ① 27年度事業活動報告
- ② 27年度収支決算報告および監査報告
- ③ 28年度事業活動計画
- ④ 28年度収支予算

土屋事務局長が上記審議事項を説明し、下記のとおり一部修正を加えることで全員賛成で可決された。

主な内容は次の通り。

- ・①項 27年度事業活動報告について
広報啓発事業として、北海道大学プロジェクトに協力して実施した活動報告を追記。
- ・③項 28年度事業計画について
原子力防災の講演や放射性廃棄物問題を扱うことを方針に加える。
「新規会員の増加や収支改善の努力のための議論を行う」旨を方針に追記。

6. 主な質疑応答・意見

- ・②項 27年度収支決算報告 について
Q：赤字分はどうなっているのか？
土屋：受託費が支払われるまでは立替えている扱いとしており、借入などはしていない。
- ・③項 28年度事業活動計画
 - ・昨年実施した原子力防災に関する講座は時間不足で途中で終わってしまった。同じ講師に依頼して、最後まで話を聞いてみたい。
 - ・発電所は動いていないが、レベル3の廃棄物やガラス固化体など、東海村には放射性廃棄物に関するリスクがあるので、これを今年度も活動テーマにしてはどうか。
 - ・活動方針に加えることにしたい。
- ・④項 28年度収支予算について

Q：赤字のまま解散することになった場合、赤字分はどう処理するのか？ 会員が分担するのか？

土屋：まず、報告した 27 年度の赤字は会計年度の変更に伴うものであり、実際の赤字は 20 万円程度になる。また、どこから借金をしているわけではなく、受託費が入金されるまで支払いを延期しており、会計処理上赤字になっている。

- ・金額よりも、負債処理の考え方を決めておく必要がある。
(定款では、解散の手続きと破産処理についてしか定められていない)
- ・受託費が支払われた結果を報告してほしい。
- ・理事会でも提案したが、「新規会員なし」は活動方針としていかなものか。次世代につなぐ姿勢を示すべき。もっと前向きな表現にできないか。

議長：入会をうながすアイデアがあれば提案いただきたい。

- ・新会員のことでなく、特定の人々の活動に頼っている状況を考える必要がある。
どこから収入を得て活動を続けるかを考えるべき。
- ・本来なら何等かの事業を起こして収益を得るべきだが、事業を行うには能力と責任が必要。我々自身のポテンシャルアップを考えなければ、今の活動だけで新たな事業を展開することは難しい。
- ・何か方向性として示すべき。予算案に元気がない。

議長：具体的な内容は定例会で議論していきたい。予算書を変更する必要があるか？

- ・予算書はこのままでよいのではないか。

議長：それでは、方針に「新規会員の増加や収支改善の努力のための議論を行う」旨を追記することにしたい。

- ・会員が多いところの活動には何かよいところがある。会員の動機を調べる必要があるのではないか。
- ・自分はロコミで入会した。問題意識を共有している人に声をかけるのがよいと思う。

・その他（28 年度の具体的な活動提案）

- ・5 月に入って、村は広域避難計画の意見交換会を行っているが、出席者が少ない。安定ヨウ素剤を受け取った人も 4 割程度。臨界事故や福島事故が風化してきているのではないか。このような状況で、広域避難計画案を村民が読んでくれているかどうか疑問。先日は取手市の市議が参加して、「取手市民は避難受入について知らない」と発言していたが、我々も同様。避難先がどんな所かわかっていない。例えば取手市へ行って、避難所周辺を調べ、取手市民と話をするというのはどうか。
- ・よい提案だと思う。避難ルートを走ってみたり、避難所を見たりして、それらを村民に伝えるとよいのではないか。
- ・防災原子力安全課には、万一高速道路が使えなくなった場合のルートも考えてもらいたい。
- ・避難ルートと避難先の情報は村民の皆さんも知りたいこと。
- ・若い世代に向けて、遊びの要素も入れてはどうか。

土屋：村の受託事業では、福島の実態を紹介することを提案しようと考えている。防災について村民の皆さんに考えていただく機会を提供したい。

- ・福島事故から 5 年たち、風化してきているように感じる。自分も福島での活動の記録をどこかで紹介したいと考えている。

議長：定例会で具体的な議論をしていきたい。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人が次に署名押印する。

平成 28 年 8 月 19 日

代表理事 佐藤 隆雄 印

副代表理事 中村 洋平 印

理事 服部 成雄 印

この写しは議事録の原本と相違ないことを証明する。

平成 28 年 8 月 19 日

名称 特定非営利活動法人 H S E リスク・シーキューブ
茨城県那珂郡東海村白方中央一丁目 1 番 5 号

代表理事 佐藤 隆雄 印